

2010年 月 日

議会議長

殿

住所

電話

団体名

代表者

国に対し、後期高齢者医療制度をすみやかに廃止し、 医療保険制度一元化反対の意見書を求める陳情書

【陳情趣旨】

2008年4月からスタートした後期高齢者医療制度は、多くの高齢者・国民が差別医療制度だ、働けない高齢者からなぜ保険料を取るのか、こんなひどい制度は廃止してほしいと、高齢者・国民の怒りの声が広がっています。

後期高齢者医療の保険料は2年目を迎え、引き上げられ、生活をさらに厳しいものになっています。

75歳以上の人たちは、悲惨な戦争を体験され、荒廃した日本を一生懸命働いて、日本を復興させてきた人たちです。こういう人たちに、年齢で区切り、差別医療を行なう世界に恥ずべき制度は、すみやかに廃止すべきです。

また、高齢者医療改革会議では、政府が掲げた新しい制度を具体化する検討会議が進められ、都道府県単位の医療保険制度の一元化に向けて動きだしています。

医療保険制度の一元化は高齢者だけでなく、国民健康保険の都道府県単位の一元化、さらに協会けんぽ、企業で行なっている被用者保険などを含め、医療保険全体の一元化が検討されています。

国民は、新しい制度、医療保険制度一元化を求めてはいません。国に対し、委員会・本会議で採択し意見書を上げるよう陳情します。

【陳情事項】

次の事項について、国へ意見書を上げて下さい。

- 1、後期高齢者医療制度をすみやかに廃止し、もとの老人保健制度に戻すこと。
- 2、医療保険制度の一元化は行なわないこと。